

第56期 中間期

株主通信

(2020年1月1日～2020年6月30日)

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
2020年12月期の中間期株主通信をお届けいたします。

社訓

「技術は命」「良品は力」「誠意は道」

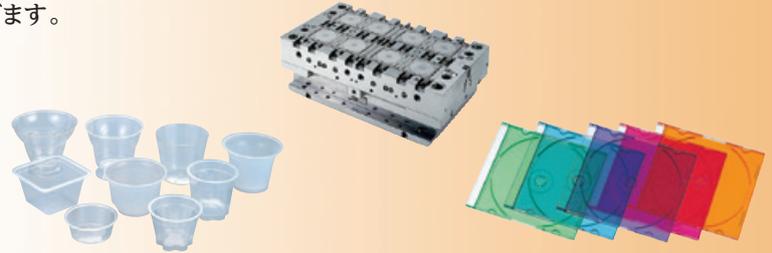
 不二精機株式会社



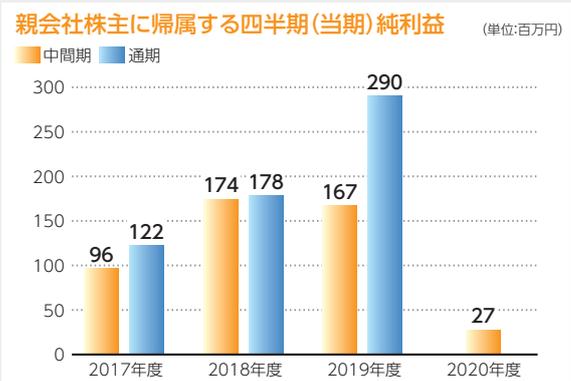
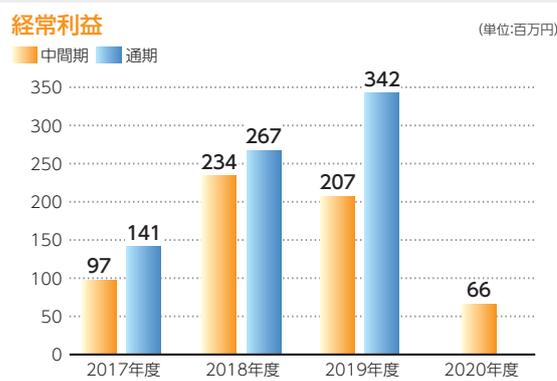
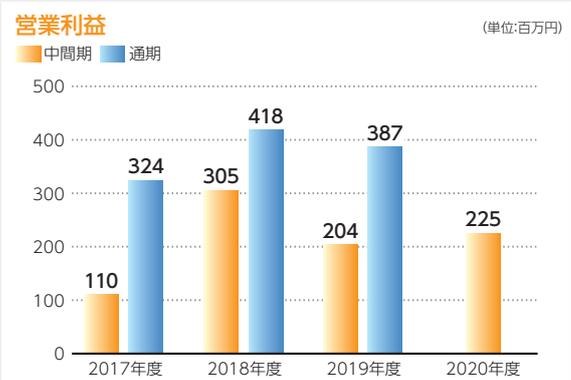
証券コード：6400



PRODUCT MOTHER



連結財務ハイライト



(注) 各指標の金額は百万円未満を四捨五入しております。

概況

2020年度中間期の売上高は、精密成形品事業では自動車用部品を中心にインドネシア市場での受注拡大などがあり、前年同期比2億62百万円(14.7%)増の20億42百万円となりました。精密金型事業では安定的な受注が続きましたが、新型コロナウイルスの影響による検収の遅れがあり、前年同期比3億88百万円(25.1%)減の11億59百万円となりました。売上高合計としては、前年同期比1億26百万円(3.8%)減の32億1百万円となりました。

営業利益は、精密成形品事業での増収による増益などにより、前年同期比21百万円(10.1%)増の2億25百万円となりました。

経常利益は、急激なインドネシアルピア安による為替差損1億33百万円(前年同期は20百万円の為替差益)が発生した影響により、前年同期比1億41百万円(68.1%)減の66百万円となりました。

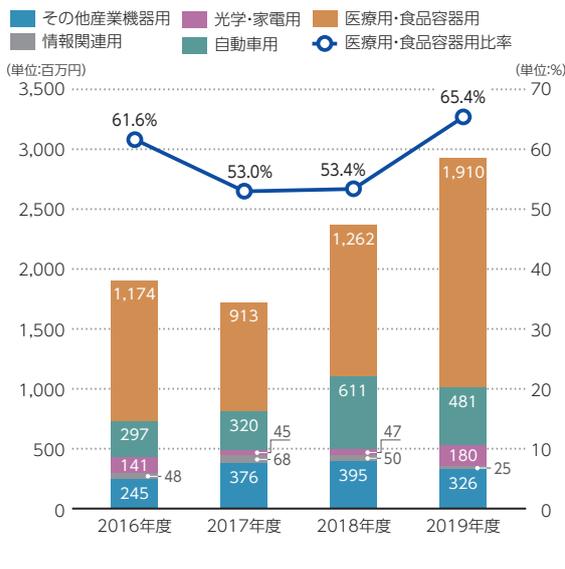
親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の減少などにより、前年同期比1億40百万円(83.8%)減の27百万円となりました。

2020年度通期の予想は、新型コロナウイルスの世界的な拡大の影響を受け、顧客の動向が不透明でありますので現時点では未定とさせていただきます。合理的算定が可能になった時点で速やかに公表いたします。

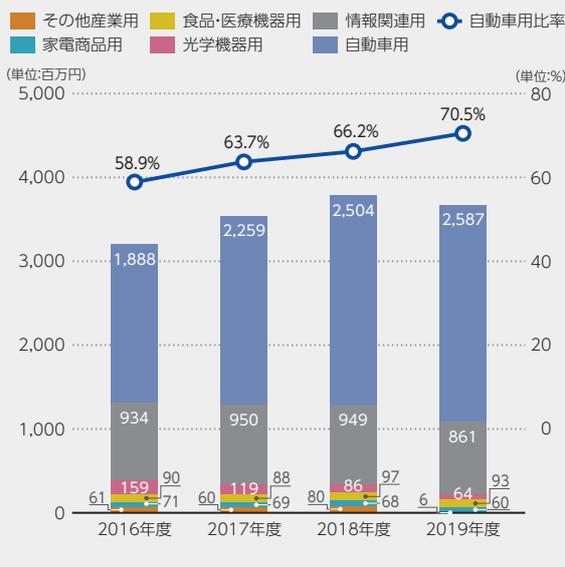
事業セグメント別売上高推移



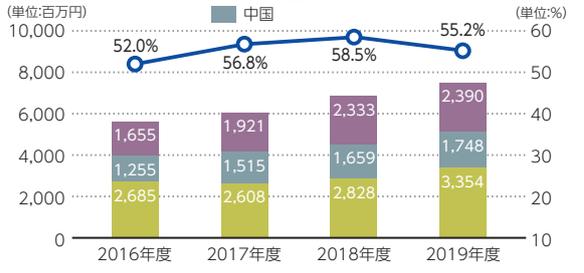
精密金型事業分野別売上高推移



精密成形品事業分野別売上高推移



地域別売上高推移



▶ 事業セグメント別

当社の事業セグメントは、祖業であり競争力の源泉であります精密金型事業と2001年の上場を機に参入した精密成形品事業で構成されております。

精密金型技術を活用した精密成形品事業の売上高比率は、2014年度以降、売上全体の60%程度で推移しております。

中期的な方針として売上規模の拡大は、自動車用分野を中心とした精密成形品事業(下記精密成形品事業<分野別>資料をご参照下さい)で計画しております。

2020年度につきましては、精密成形品事業で受注済の自動車部品の増産による売上高の増加を予想しておりますが、新型コロナウイルスの世界的拡大の影響を受け通期予想は、現時点では未定とさせていただきます。

▶ 精密金型事業<分野別>

精密金型事業は、価格競争に陥る分野とは一線を画し、売上規模の拡大ではなく、より付加価値の高い製品への集中を進めております。

新型コロナウイルス関連の製品も視野に入れ、医療用関連分野・食品容器関連分野への受注活動に注力し、併せて研究開発活動および製造原価構造の改革による利益率の向上を目指しております。

【注射器用金型】

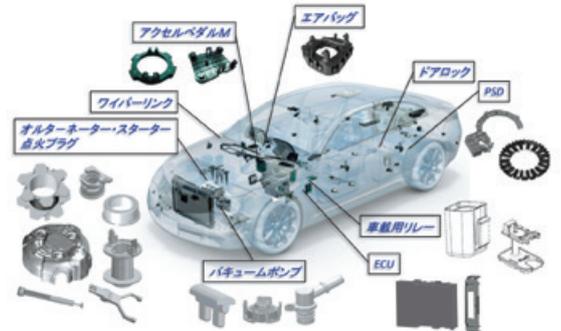


▶ 精密成形品事業<分野別>

精密成形品事業は、長期安定生産につながる自動車部品(2輪・4輪)分野の拡大を計画的に進めております。

品質管理体制のレベルアップを着実に実施し、今後増加する受注への対応のための増産体制の整備を順次実行しております。

【4輪車関連の受注部品例】



▶ 地域別

タイ・インドネシア市場では自動車部品の受注拡大に対応し、成形設備の増強と品質管理体制の整備を進め、売上規模のさらなる拡大を目指しております。

中国市場では米中貿易摩擦や中国当局による各種の規制強化などもあることから、生産性の向上、固定費の圧縮などで一定の利益の確保を目指し、規模の拡大は計画しておりません。

新型コロナウイルス対策

足元の状況と対応

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、グループ各社では従業員の健康確認を毎日実施し、本社へ報告する体制としており感染による国内および海外の各工場の操業に影響は出ておりません。

自動車関連部品の成形品を製造しておりますタイおよびインドネシアの各工場では主要顧客の操業度との関係で、稼働率が計画を下回った今回の機会を活かし、稼働の回復時の増産に備えて平時には実施が難しい生産設備のメンテナンスや品質管理体制の強化のための従業員教育（右の写真はインドネシアでの研修の風景）を重点的に実施しております。



コロナ後に向けて

今回のコロナ禍をチャンスと捉え、以下の施策を実施して参ります。

1. 働き方改革

営業および管理部門を中心に、今回のテレワークの経験を活かし、業務の根本的な見直しとともに従来の時間を基準にした働き方に加え成果を評価する制度の構築を目指します。

2. デジタル化の推進

各種資料のデジタルデータ化、RPA（事務作業のロボット化）やWEB会議の活用、遠隔地の可視化などのデジタル技術によって、移動時間や経費削減、判断のスピードアップなど生産性の向上を目指します。

3. 新製品開発

精密成形品事業の競争力強化に向けて、電気自動車を視野にいたれた自動車部品の新製品を従来の樹脂のノウハウに昨年グループ化した秋元精機工業の板金加工のノウハウを加え早急に開発して参ります。

TOPICS



■工場概要

- ・名称 高知宿毛工場
- ・住所 高知県宿毛市平田町(高知西南中核工業団地内)
- ・操業 2022年12月開始予定
- ・業務 金型設計、金型部品加工
- ・用地 既存の不動産取得(2020年3月)

高知宿毛工場の開設準備状況

当社の精密成形品事業の競争力の源泉となる精密金型は、注射器などの医療用品用および自動車関連部品用を中心に、1972年に開設した愛媛県東温市の松山工場で製造しております。

2020年3月に既存の不動産(土地4,600㎡、建物590㎡)を取得いたしました新工場は、今後さらに技術者人材の採用が困難になることが想定される中で、高知県内の人材を安定的に確保することを目指す拠点と位置づけ、業務内容としては松山工場との連携のもと、第一段階でCADを使用した金型設計業務の一部を実施し、第二段階で金型の部品加工を実施することによって精密金型事業の納期対応力および収益性の向上を目指しております。

高知県内で採用した従業員の研修を松山工場で開始し、2021年の試験操業を経て2022年12月の本格操業開始に向けて準備を進めております。

▶ 会社概要

商号	不二精機株式会社 FUJI SEIKI CO., LTD.
設立	1965年7月1日
資本金	5億円
従業員数	105名
事業所	本社・松山工場・関東営業所
主な事業内容	プラスチックを加工するための射出成形用精密金型および成形システムの製造・販売 精密成形品その他の製造・販売

▶ ネットワーク



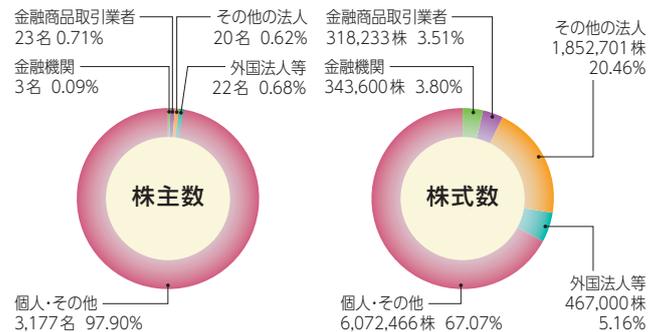
▶ 役員

代表取締役社長	伊井剛
取締役副社長	宮崎正巳
専務取締役	山本幸司
取締役	藤本由数
取締役（社外）	高橋秀昭
常勤監査役	菅一明
監査役（社外）	梅田浩章
監査役（社外）	橋本豊嗣

▶ 株式の状況

発行可能株式総数	23,720,000株
発行済株式の総数	9,054,000株
株主数	3,245名

▶ 株式所有者別状況



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当 毎年12月31日 中間配当 実施する場合は6月30日

単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777（通話料無料）

公告方法 電子公告
電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL <https://www.fujiseiki.com/>

（ご注意）

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

ホームページでも、当社の会社情報や最新のIR情報などがご覧いただけます。

<https://www.fujiseiki.com/>



トップページ

IR情報ページ